

平成 28 年

雲南市議会 3 月定例会
会派代表質問通告一覧表

【会派代表質問日程 平成 28 年 3 月 7 日】

平成28年雲南市議会3月定例会 会派代表質問通告一覧表 目次

順番	日程	会派名	質問者		質問方式	ページ
			議席番号	氏名		
1	3月7日(月) 午前9時30分～	清風雲南	17	小林真二	一括	1～3
2		明誠会	15	堀江 眞	一括	3～5
3	3月7日(月) 午後1時00分～	フォーラム志民	8	佐藤隆司	一括	5～8

平成28年雲南市議会3月定例会 会派代表質問通告一覧表

平成28年3月1日

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	清 風 雲 南 小 林 眞 二 (一 括)	1. 平成28年度市 政運営について 2. 平成28年度予 算編成について 3. 経済状況につい て 4. 企業誘致につい て 5. 観光振興計画に ついて 6. 雲南市中心市街	(1)市長3期最後の年となる平成28年度市政運営の決意は。 (2)国が掲げる地方創生は、全国の自治体が人口増のビジョンを策定し、同じような施策となっている。雲南市が目指す姿を実現させるために何が必要か見解を。 (1)厳しい財政事情の中で総合戦略の具体化、重点施策について所見は。 (1)最近の日本経済の不透明感をどう分析し、地域経済にどんな影響が出るのか所見を。 (1)企業誘致がさらに進むような対策と企業側から求められる人材の確保について所見を。 (2)市内の小規模企業や誘致企業に対する生産力の向上や経営力強化、取り組みへの支援策は。 (1)計画には何を盛り込み、何を目指すのか。計画の主な内容は。 (2)観光施策の推進は関係者だけの努力では不十分である。それを補うため、地域の総力戦体制が必要だが見解は。 (1)大切な予算と貴重な時間を使っての計画の練り直しとなった原因は。	

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		<p>地活性化について</p> <p>7. 環太平洋連携協定（T P P）について</p> <p>8. 農業振興について</p> <p>9. 雲南市公共施設等管理運営計画について</p> <p>10. 教育について</p>	<p>(2) 今後の認定に向けての見直し、また、取り組みの姿勢について所見は。</p> <p>(1) 市の農業産出額への影響をどのように分析しているのか。</p> <p>(2) 地域経済の衰退、地域社会の崩壊に繋がる重要な課題である。課題の解決に向けた取り組みについて所見は。</p> <p>(3) 畜産振興における、和牛などの増頭対策や飼養農家への支援の考えは。</p> <p>(1) 農業の高齢化、今後のT P Pによる影響で増加する耕作放棄地への対策について所見は。</p> <p>(2) 良質なブランド米が全国的に認められるには、一定の生産規模、販路が必要だが見解は。</p> <p>(1) 計画は利用者の立場で議論をつくし、廃止の明確な基準や利用状況、市民生活への影響を考慮した上で最善の判断を望むが見解を。</p> <p>(1) 1年経過した第三次市教育基本計画の現状認識と課題について。また、課題をどのように活かして推進していくのか所見を。</p> <p>(2) 政府が進める新たな成長戦略において、小中学校からI T関連の教育の強化及びグローバル時代を踏まえ、英語教育の充実も図るとされるが、この施策についての所見は。</p> <p>(3) 県が公表した学力調査をどう分析し、対策を立てるのか所見を。</p> <p>(4) 携帯電話やスマートフォンの長時間使用は、学力低下に繋がるという。学校教育現場での指導、学力アップに繋げるための考えについて所見は。</p>	

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		<p>1 1. 原子力安全・ 防災対策について</p> <p>1 2. 市長の任期に ついて</p>	<p>(1) 広域避難計画の実効性向上にどう対応するのか所見を。</p> <p>(2) 国内の原発再稼働や中国電力の宍道断層の長さについて再評価、及び会社の姿勢を問う声もあるが、雲南市はどう現状を認識し、また、島根原発再稼働や安全対策への対応について見解を。</p> <p>(1) 3期12年の市政のかじ取りをどのように統括し、この度の改選を迎えられるのか所見を。</p>	
2	<p>明 誠 会 堀 江 眞 (一 括)</p>	<p>1. 農業振興政策に ついて</p> <p>2. 林業の振興につ いて</p>	<p>(1) 全国一律ではないこの地域に合った農業振興策が必要だがどこに重点を置いた施策を進めるのか。そのための予算になっているのか。</p> <p>(2) これ以上耕作放棄地が出ないように小規模農業者に対する経営安定対策は講じられているのか。また小口田を引き受けて耕作放棄地を守っている中核農家の支援は講じられているか。</p> <p>(3) 食の幸発信推進事業、6次産業化の推進は大きな柱だが今回の中期計画で次年度以降が消去された。理由があるのか。今後どう取り組んで行くのか。</p> <p>(4) 就農希望者の移住を促す事業（農業担い手育成事業等）で8名を確保、支援していくことが示された。どう取り組むのか。定着できるような取り組みが求められる。</p> <p>(5) 法人、集落営農組合による繁殖和牛経営のモデル事業として推進し稲わらや粗飼料の生産確保が重点事業として掲げられた。関係者の期待は大きい。説明を求める。</p> <p>(1) 里山にもう一度 人を呼び戻す施策が必要だ。市長の山への思いを伺う。</p> <p>(2) 森林バイオマス事業や市産材の利用促進を図る上で路網整備は不可欠だ。公社造林以</p>	

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		<p>3. 商工業振興政策 について</p> <p>4. 清嵐荘の改築整 備計画について</p>	<p>外で、今年度予算に組み込まれているのか。</p> <p>(3) 法人、個人を問わず植林、枝打ち、下草刈り、雪起しなど山林作業に要した費用を控除、山林施行経費を単年度経費扱いとする優遇税制を導入して 里山に人を呼び戻す起爆剤としてはどうか。温暖化対策に貢献し、山村地域の雇用の拡大と活性化に繋がると考える。</p> <p>(4) J・クレジット制度に雲南市も自ら創出者になる、もしくはカーボンオフセットの認証を受けようとする民間事業者を積極的に支援して行くべきではないか。申請に必要な資料（地籍測量図等）の提供、購入側の税制面からの優遇措置を国に働きかける等。</p> <p>(1) プレミアムカタログギフト事業の実績を問う。地元特産品をPRする有意義な取り組みであり継続して取り組むべきではないか。あわせて他のプレミアム商品券の成果も問う。</p> <p>(2) 神原企業団地は平成30年度の分譲開始を目指しているが肝心のスマートインターは早くても平成34年度と聞く。企業誘致は出来るのか。決意を伺う。</p> <p>(3) 産業振興センターの体制強化が図られた。空き団地、空き工場が少ない中であって企業誘致を实らせ、また販路開拓や企業承継は成果が上げられるのか。</p> <p>(1) 単なる清嵐荘の改築に留まらず、出雲風土記に記された薬湯・漆仁の里の一体的な取り組みが必要と思う。市長の考え方と未来戦略を伺う。</p> <p>(2) ワークショップの資料が提出された。ワークショップを踏まえ、どこにポイントを置いて実施計画に向かうのか。</p> <p>(3) 指定管理も愈々28年度限りとなる。28年度はいつまで営業するのか。従業員の処遇、</p>	

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		<p>5. 公共建築物の修繕について</p> <p>6. 子育て支援施設について</p>	<p>今後の対応はどのように考えているのか。市の考え方を伺う。</p> <p>(1) 11月に総合管理計画が示された。計画は重要だが、雨漏り、水周り修理など急がれるが予算は確保されているのか。</p> <p>(2) トイレに対する苦情を聞く。観光施設のトイレなど1箇所でも洋式化が早急に必要だ。</p> <p>(3) たたら壺番地にトイレが増設された。合併浄化槽の処理について混雑時の課題は解決されていない。抜本策と当面流末まで暗渠化するなど対策が必要だと思うがどうか。</p> <p>(1) 吉田町には保育所以外子育て支援の仕組みがない。ニーズ調査をして仕組みを整備すべきと考える。</p> <p>(2) 放課後児童クラブは利用料金にバラツキがある。現行より低い料金に統一すべきだ。</p> <p>(3) ファミリーサポートセンターを充実させるためには援助会員を増やすことが必要だ。どう取り組むのか。</p> <p>(4) 斐伊保育所は狭隘で保育室では無いところを仕切り使用しており環境は良くない。早期の対策が必要だ。意見を伺う。</p>	
3	<p>フォーラム志民 佐藤隆司 (一括)</p>	<p>1. 市長の所信表明について</p>	<p>(1) 市長の市政運営の姿勢について</p> <p>① 3期12年目の総括と速水市政の総仕上げの年として、目指されるものは何か。</p> <p>② 速水市長が目指し、表明されているプラチナ社会は、市民権を得ると共に職員一丸となって、その目標に向けた取り組みとなっているのか伺う。</p> <p>③ 分かりづらいプラチナ社会実現は、どのような数値を指標(重要 KPI)とし評価されるのか。</p> <p>④ 市長は「小さな拠点」(コンパクトシティ・ビレッジ)について、これまで市内の6町や地域自主組織を例に挙げ考えを示されているが、本市の将来のまちづくりの基本</p>	

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		<p>2. 第2次総合計画及び市総合戦略について</p> <p>3. 産業振興について</p>	<p>であり市民に明確に示す必要があることから改めて見解を伺う。</p> <p>(1) 国が示す地方創生について</p> <p>① 国の地方創生関連の平成 28 年度予算は、地方自治体が期待するほどでもなく不満や落胆も多かった。国の交付金を期待し、依存した形で地方自治体が振り回されてはならないと考える。予算確保の面から必要性は理解できるが、重要なことは市民への有効施策につながっているかである。市民全般に地方創生交付金の効果があっているのか見解を伺う。</p> <p>② 国は人口の地方分散・再配置をすることを狙い、主要な政府機関や大企業本社の地方移転など、大胆な政策が打ち出され、本市も対応されてきたがその結果、成果はどうであったのか。</p> <p>(2) 市民への周知と計画実施について</p> <p>① 「子どもチャレンジ」「若者チャレンジ」「大人チャレンジ」のこの3つのチャレンジ連鎖により「人口の社会増」を目指し、「課題先進地」から「課題解決先進地」を描こうとされている。市民に理解が得られているのか見解を伺う。</p> <p>② 「雲南市総合戦略」の改訂版が示された。新たに重要成果指標（重要 KPI）が示されたが、その成果指標は、市総合計画推進委員会において検討された数値が成果指標として示されたものか。</p> <p>③ 平成 27 年度の検証が行われ、28 年度から具体的な事業を本格的に推進する段階（深化）に入ると考える。まず市民へ取り組みの浸透を図ることが第一と考えるが、その認識と手法は何か伺う。</p> <p>(1) 中心市街地活性化事業について</p>	

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		て	<p>①市長は中心市街地活性化事業の取り組みについて「不退転」の決意で取り組むと発言されている。現在の状況で何が課題であり問題なのか。夏頃を目途に実現性が確実にできる計画が策定できるのか。</p> <p>②「不退転」の決意で雲南省の顔づくりを目指すのであれば、庁舎内の担当プロジェクトチームを設置し、取り組みが必要と考えるがどうか。</p> <p>③認定後、5カ年間で相当大きな規模の投資額が予想される。現在の計画が策定された場合、概算でどの程度の予算規模と想定されているか。</p> <p>④今後、予定通り認定を受けた場合は、平成29年度からの事業実施となる。今回の中期財政計画では平成30年から収支不足の計画が示されているが、今後への影響をどのように考えられているのか。</p> <p>(2) 6次産業化について</p> <p>①市の6次産業化支援拠点として「食の発信推進事業」は実施計画において事業費がカットされ、28年度は計画策定とトーンダウンとなった。その経緯を伺う。</p> <p>②事業内容が白紙撤回されていないのに事業費だけがカットされたことに実施計画の信憑性を懸念するが、実施計画はそんなに容易に変更される5カ年計画なのか。</p> <p>(3) 観光戦略について</p> <p>①平成29年度公開される映画「たたら侍」のロケーション施設の活用と今後の戦略(仕掛け)について伺う。</p> <p>②「菅谷たたら山内」を核とする日本遺産登録の実現性とその延長線上に世界遺産登録を目指す考え方なのか伺う。</p> <p>③トワイライトエクスプレス瑞風の立ち寄り先に雲南省の食の杜「室山農園」と須我神社、神楽の宿の3施設を追加すると発表された。市民を含め直ちに全市的に取り組む</p>	

質問 順位	会 派 名 質 問 者 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		<p>4. 健康づくり拠点整備事業について</p> <p>5. 水道料金の改定について</p>	<p>ことが必要であるが今後の取り組みについて伺う。</p> <p>④境港に寄港するクルーズ客船はインバウンド観光の縮図と言われている。おもてなしサポートや物販ブース等への参加、出店（出前）について取り組む必要性があると考ええるがいかがか。</p> <p>⑤市観光協会を一般社団法人化された成果と課題をどのように整理されているのか。また、本市の日本版DMOの考え方と今後の展開について伺う。</p> <p>(1)健康づくり拠点整備事業の所管部局が変わることについて</p> <p>①健康福祉部から教育委員会へ、担当所管を変えた理由は何か。</p> <p>②健康づくり拠点事業として、全市的な取り組みが目指された基本計画と理解していた。「健康都市」を宣言され推進される中、今後も健康長寿・生涯現役を目指した全市的な健康拠点の基本方針は貫かれるのか。また、どこの部局が主体的に取り組むことになるのか。</p> <p>③これまでの取り組み（温水プールによる健康推進）を考えれば教育委員会に「生涯スポーツ推進課」の設置を検討されることが必要ではないか。</p> <p>(1)水道料金の値上げについて</p> <p>①平成 29 年度から簡易水道事業を水道事業に事業統合されることから水道事業会計を圧迫するため、水道料金の見直しをされるが、あまりにも唐突な値上げの料金改定（案）である。暫定期間を設け、市民の皆さんへの説明をし、理解を得る猶予期間が必要であるが見解を伺う。</p> <p>②基準外繰入の追加分として基準外繰入の財源を確保し、投入する考えについて伺う。</p>	

